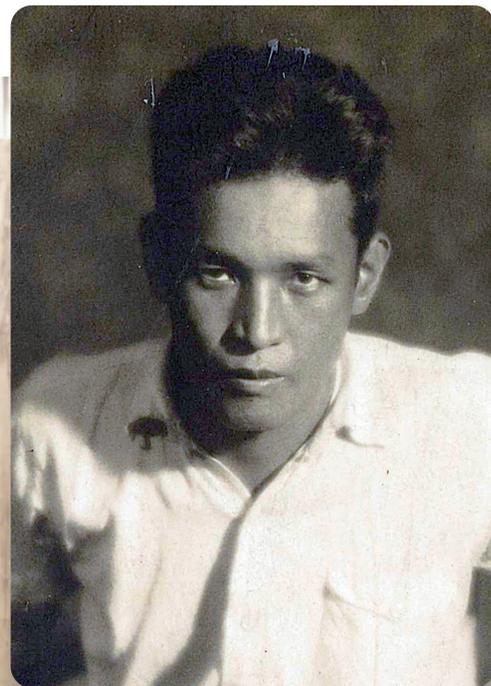


川崎長太郎没後40年記念

芥川賞落選作家
だからこそ分かる
川崎長太郎



いぬい あきと
作家 戌井昭人 トーク&サイン会
対談：戌井昭人×齋藤秀昭



日時：2025年11月23日（日・祝日）

午後1時～4時30分 ※受付は午後12:00～

会場：報徳博物館（地下会議室）※案内図は裏面です。

会費：2000円 ※当日、会場でお支払い下さい。

定員：100名 ※要申し込み。定員になり次第締め切り。

※どなたでも参加できます。お気軽にお申込みください。

お問い合わせ・お申し込みは事務局（小泉）まで。

〒250-0874 小田原市鴨宮 384 TEL. 090-5409-3071

E-mail uketuke@odawara-bungaku.jp

※お申込み受付中（先着順）。

※サイン会用の書籍は会場で販売いたします。

（返信ハガキ・メールで事前予約可）



詳細は小田原文学研究会 WEB サイトをご覧ください。

https://www.odawara-bungaku.jp/special_events/event_004.html

2025 年は小田原を代表する小説家・川崎長太郎の没後 40 年に当たります。
これを記念し、長太郎文学をこよなく愛する作家・戌井昭人氏をお招きして講演会と
研究者との対談およびサイン会を実施します。
小田原市民や全国の長太郎ファンが集う対話的な空間を作りますので、
是非足をお運び下さい。

講演・対談者の紹介

いぬいあきと
戌井昭人



プロフィール

小説家。1971 年、東京都生まれ。1997 年に結成したパフォーマンス集団「鉄割アルバトロスケット」で脚本を担当、自身も俳優として活動を継続するなか、小説を書きはじめ、2009 年「まずいスープ」で芥川賞候補になる。その後「ぴんぞろ」「ひっ」「すっぽん心中」「どろにやいと」とさらに 4 回、芥川賞の候補になる。その一方で、2014 年「すっぽん心中」で川端康成文学賞を、2016 年『のろい男 俳優・亀岡拓次』で野間文芸新人賞を受賞。最新刊は読売新聞夕刊に連載された『おにたろかっぱ』。2025 年、川崎長太郎『女のいる暦』解説を執筆。

さいとうひであき
齋藤秀昭



プロフィール

川崎長太郎研究者（立教大学ほか兼任講師）。1971 年、神奈川県生まれ。『彷徨月刊』最後の特集「川崎長太郎のうたごえ」を故・坪内祐三氏と企画・編集したことを皮切りに、講談社文芸文庫でこれまで 6 冊の長太郎本を手掛ける（『老残／死に近く』『泡／裸木』『ひかげの宿／山桜』『女のいる暦』『路草／朽花』『娼家の灯／面影』）。また、小田原文学館での川崎長太郎没後 30 年展では、詩人の平出隆氏・建築家の青木淳氏らと結成した「川長組」のメンバーの一人として企画・展示に協力する等、小田原市民の方々との絆を何よりも大切にしたいと考えている。



【会場地図】

報徳博物館

<https://www.hotoku.or.jp/kinzirozo/>

- 小田原駅東口よりお堀端沿いに…徒歩 15 分
- バス（箱根方面行）箱根口下車…徒歩 5 分

【小田原文学研究会について】

小田原文学研究会は、小田原市内外の有志のお力添えと、諸団体の協力を得ながら、2024 年春に発足、おおむね次のような事業の展開を企図しています。多数のご参加をいただきお力添えをお願い申し上げます。

1. 小田原出身または居住した文学者・作家の作品の研究と顕彰を行う事業。
2. 同上の資料の発掘と整理、保存。
3. その他本会の目的に沿った文学活動及び文芸的事業。